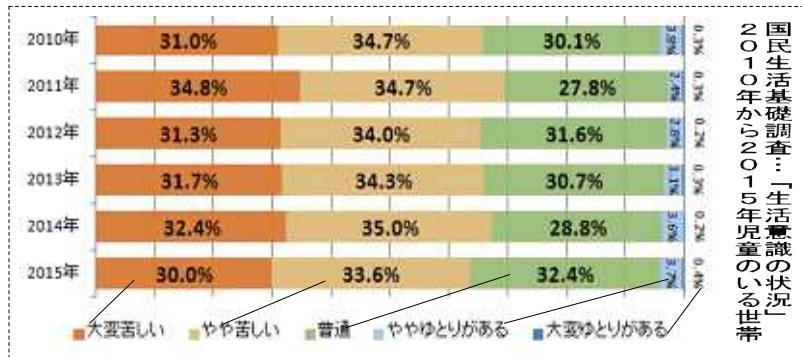


きびしい子育て世代の家計… 経済的な負担を軽減する支援が必要



2015年の国民生活基礎調査で児童のいる世帯の生活意識の状況は、大変苦しい、苦しいを合わせて63%超で高止。高齢者と比べても高いのが現状です。なぜこうした結果なのか? 同調査では児童のいる世帯の平均年収が712万円。また、平均年収は、一部の高額所得者が平均を引き上げています。そこで上下に同じ数の世帯がある中央値を見ると633万円です。これから所得税、住民税、社会保

就学援助の対象拡大、入学祝い金支給など義務教育の家計負担軽減は区の決断でできます

险料を差し引いた手取りはナス別で約35万円程度。

そこから住宅ローン、教育・保育費用など差し引き、消費税増税の影

響などもあって自由に使える金額が減少しています。その中で

教育費は、公立小学校でも月2万5000円程度、公立中学生

でその倍以上など家計の大きな負担となっています。義務教育

は無償のはずですが実態は違つています。今回共産党区議団が

提案した就学援助の対象拡大、入学祝い金などは、直接家計の負担を軽減する効果が期待されるものです。地方自治体に何ができるか、荒川区でも問われて

条例案	内容	予算修正額
就学援助条例	就学援助の基準を生活保護の1.5倍に拡大	1億62万円
小中学校入学祝い金条例	入学時小2万、中3万円の祝い金支給	7,761万円
子ども医療費条例一部改正	18才まで子ども医療費無料化を拡大	4,913万円

区民アンケートのご要望から…②

区民アンケートへのご協力ありがとうございます。

寄せられた身近な改善要望などご紹介し、問題解決に引き続き力をつくします。みなさんのご協力をよろしくお願ひいたします。

1、道路や公園について

道路に自転車専用レーンを増やしてほしい

尾竹橋通りの自転車専用レーンを利用しているが、



駐車している車が多く危険を感じる、改善を

自転車利用者の交通マナーを徹底してほしい

道路が狭い、歩道の確保、ベビーカーが押しづらいので道の改善を(段差や凸凹、傾斜など)

公園を増やしてほしい、公園の整備では、ボーリング遊びのできる公園 アスレチックや遊具も減っているなど改善を



街路灯を増やしてほしい(暗い夜道が多く不安)

2、環境、美化問題について

歩きタバコをやめてほしい(多数)

ゴミ出しのマナーの徹底を



3、まちづくり

商店街でシャッター通りが増えている対策

区民参加のまちづくりを

自転車駐車場の整備、拡大

京成高架下の利用…などです。

開会中の議会でもできる限り反映、改善させるために頑張ります。

子どもの貧困問題の実態は… 女性の貧困問題と重なっている

先日NHKスペシャル「見えない貧困」未握も当初困難でした。そこで福岡市は、職員間のスマホのし工Nや独自のアプリなど使って情報交換し、担当する各避難所の必要物資を迅速に届けることが出来たといいます。あらゆる教訓を生かすことが必要です。



世帯数(推計値)	母子世帯	父子世帯
	124万世帯	22万世帯
ひとり親世帯になった理由	離婚 81%	離婚 74%
	死別 8%	死別 17%
就業状況	働いている母 81%	働いている父 92%
うち 正規雇用	40%	67%
うち 自営業	3%	16%
うち パート・アルバイト等	47%	8%
平均年間就労収入額	181万円	360万円